

学校だより

くすのき

5月号



令和6年4月30日

よこはましりっほんもくみなみしょうがっこう
横浜市立本牧南小学校



ホームページはこちらから! 随時更新中→

あいさついっぱい みなみっ子

副校長 杉山 ももこ

朝 8 時前になると、本牧南小学校には子どもたちのあいさつが聞こえてきます。朝食をしっかりと食べて元気いっばいあいさつをする子。少し寝不足気味で元気がない子。おうちの人と離れるのが不安で硬い表情で登校する子。子どもたちの表情も声も様々であり、あいさつ一つで子どもたちの心の様子が分かってしまうこともよくあります。あいさつは、心のバロメーターでもありますね。



さて、そんなあいさつですが、私は「気持ちのよいあいさつ」をすると、なんだか元気が湧いてきます。「気持ちのよいあいさつ」をされると、ちょっぴり幸せな気持ちにもなります。調べてみると、あいさつをするということは「存在承認をすること（あなたがいてくれて嬉しいと伝えること）」なのだそう。毎日、笑顔であいさつを交わすことは、知らず知らずのうちに「今日も会えて嬉しいよ。今日もあなたがいて嬉しい。」と、相手に伝えていることになるのです。子どもたちに気持ちのよいあいさつが広がれば、学校はみんなが安心して過ごせる場になるはずですよ。

あいさつが子どもたちの習慣になるためには、まず、周りの大人がしっかりとあいさつの手本を見せることが大切だと思います。4月の始めから15日まで、春の交通安全週間で子どもたちの登校を見守っていただいた地域の皆さん、保護者の皆さんには、子どもたちにたくさんあ

あ 明るく笑顔で

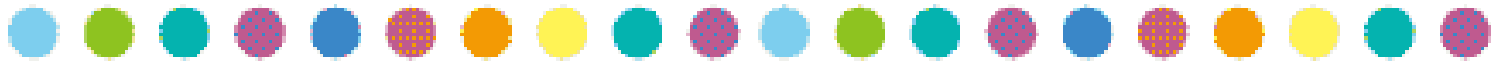
い いつでも誰にでも

さ 先にすすんで

つ 続けて

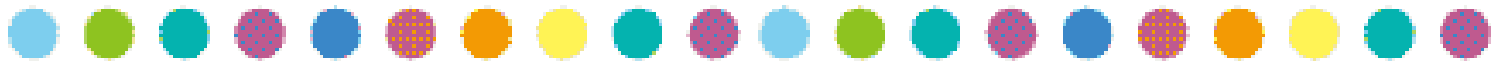
いさつの言葉をかけていただきました。子どもたちは、近くにいる大人の姿を見て育ちます。学校だけでなく、まちでも温かいあいさつの言葉をかけていただけることは、本当にありがたいことだと思います。

学校、地域、家庭がみな同じ気持ちで、子どもたちに笑顔であいさつをする。子どもたちもそれにしっかり応えられる。そんな子どもたちの姿を想像しながら、私も子どもたちに「気持ちのよいあいさつ」を続けていこうと思います。



全校 ようこそ本牧南小へ、1年生を迎える会

4月8日(月)、ピカピカの1年生30名が本牧南小学校へ入学しました。そして、4月23日には、昨年度の児童運営委員会主催で「1年生を迎える会」が開かれました。ワクワクしている様子で体育館に入場した1年生。上級生に、学習、先生、給食、学校のきまりを紹介してもらったり、様々な学年の友達とグループになって触れ合ったりと楽しい時間を過ごしていました。本牧南小の子どもたち248名で、一緒に頑張っていこうとする気持ちが芽生えていました。



外遊びだよ！全員集合！

今年度、本校では毎週木曜日を「全員が外に出て遊ぶ日」としています。外で遊ぶ習慣をつくることによって、体力アップや様々な学年とのつながりを持ち、日々の学校生活が豊かになることを目指しています。

初日は、各クラスで計画した遊びを行ったり、異学年と進んで関わったりして遊ぶ姿が見られました。これからも楽しく過ごして「元気いっぱいな南っ子」になります！

